

(様式第1号)

令和4年3月25日

龍郷町商工会
経営発達支援事業評価委員会 御中

龍郷町商工会
会長 川元 博文

龍郷町
町長 竹田 泰典

令和3年度経営発達支援事業「自己評価報告書」

(龍郷町商工会・龍郷町) 共同申請

<経営発達支援計画の目標>

①小規模事業者の経営力強化

顧客ニーズを的確に把握し、各種施策を活用しながら、小規模事業者の経営安定及び経営基盤の強化に繋げていく。

②地域資源を活用した新商品の開発による需要拡大・販路開拓

基幹産業である「大島紬」「黒糖焼酎」「南国果樹」については、新商品開発・既存商品のブッシュアップに取り組み、管内の経済循環だけでなく、地産外消をさらに推し進める。

③創業支援強化、第二創業、経営革新による商工業の活性化

創業しやすい環境を作ることで、創業者数の増加を図ること、また創業3年未満の商工業者に対する支援強化と第二創業、経営革新によって管内商工業の活性化を目指す。

④急激な経済活動の変化、多様化する小規模事業者の課題へ対応できる経営支援体制の強化

多様化する支援内容に対応する為、行政及び金融機関、関係団体等との連携強化と職員のスキルアップを促進し、支援情報の共有及び積極的な情報発信を行い、伴走型支援を実施する。

【 龍郷町商工会・龍郷町 】

令和3年度経営発達支援事業「事業報告」

本会は、令和3年3月に経済産業省より経営発達支援計画の採択を受け、小規模事業者経営分析、計画作成・実施支援、販路開拓支援など小規模事業者に寄り添った伴走型支援に令和3年4月から令和8年3月までの5年計画で取り組むこととなりました。

この計画に基づき小規模事業者支援の目標・実施内容・評価の令和3年度事業についてご報告いたします。

- ※評価基準
- A：目標を達成することができた(100%以上)
 - B：目標を概ね達成することができた(80%～99%)
 - C：目標を半分程度しか達成することができなかった(30%～79%)
 - D：目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I 経営発達支援計画

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針第四.1.(3)】

小規模事業者の販売する商品又は提供する役務の需要動向、各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集、整理、分析及び提供。

(事業内容)

今期に関しては、全業種で活用出来るものは随時ホームページに掲載を行い閲覧できる状態にしておく。巡回・窓口対応時には個々に応じた内容の調査を活用する。また管内小規模事業者にとって活用頻度の高いと考えられる調査を分析し、ホームページ公表することで管内小規模事業者に広く周知することで事業計画策定等に反映する。

①地域経済分析システム〔RESAS(リーサス)〕

→最新データが2015年となっているので、本年度は活用しておりません。

②地域の小規模事業者を対象に実態を把握するために独自に景況調査を行う。

巡回時に調査を依頼して後日回収する。(半期1回)の分析を行い、景況調査報告書として商工会報やHPへ公表する。また巡回・窓口時の支援ツールとして活用する。

→鹿児島県商工会連合会から各商工会に中小企業景況調査依頼がり、今年度について龍郷町商工会は割り当てなし。

調査結果については、龍郷町商工会ホームページにて公表。(3回)

7月9日(金) 第一四半期中小企業景況調査 公表

10月8日(金) 第二四半期中小企業景況調査 公表

12月9日(木) 第三四半期中小企業景況調査 公表

(実施目標)

3月15日現在

	目標	実績
①RESASの分析・公表回数	1回	0回
②景況調査の分析・公表回数	2回	3回
各種統計調査及び情報誌の収集・分析	随時	随時

(コメント)

RESASの分析・公表については、次年度は2015年データであっても分析を公表したい。

評価 C

2. 需要動向調査に関すること【指針第四.1.(3)】

小規模事業者の販売する商品又は提供する役務の需要動向、各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集、整理、分析及び提供

(事業内容)

①観光関連産業における需要動向調査

観光地である特徴を活かして、島外観光客を調査対象としたアンケート調査を年1回8月に実施し、本町の観光の課題や観光関連の小規模事業者(宿泊業、飲食業、土産品店等)が提供する商品及びサービスの課題を抽出して、小規模事業者の新たな販路開拓や新商品開発に活かせるような消費者ニーズ、需要動向等を把握、情報提供する。

→本年度、アンケート調査については実施できてないが、鹿児島県大島支庁発行の「奄美群島観光の動向」を活用して事業者の事業計画策定に対して情報提供を行った。

②新商品開発に伴う物産展・展示会来場者へのアンケート調査

県商工会連合会が毎年実施している「商工会まるごと特産品フェア」と、龍郷町が姉妹都市締結をしている、熊本県菊池市にて開催されている「菊池市奄美物産フェア」にて、島外への「新たな展示会」に出展時に来場者へアンケート調査を行う。

→R4. 11. 10 (水) ~11. 11 (木) フードスタイル九州 2021 出展：2 事業者

来場バイヤー、関係者にアンケートを実施した。2 事業者 21 枚。

R4. 1. 14(金)~1. 16(日) 商工会こだわりの逸品フェア 第三弾 (種子屋久・奄美地域) 延期

R4. 2. 2 (水) ~2. 4 (金) 商工会こだわりの逸品フェア 第三弾 (種子屋久・奄美地域) 中止

R4. 2. 4 (金) ~2. 7 (月) 菊池市奄美物産フェア 中止

(実施目標)

3 月 15 日現在

	目標	実績
①観光関連需要動向調査事業者数	5 社	0 社
①観光関連需要動向調査の分析、提供回数	1 回	1 回
②物産展・展示会需要動向調査事業者数	11 社	2 社
②物産展・展示会需要動向調査の分析、提供回数	3 回	1 回

(コメント)

コロナ拡大によって、緊急事態宣言、まん延防止重点措置があり、イベントが中止となったが、開催されたものについては実施した。

評価 **B**

3. 経営状況の分析に関すること【指針第四. 1. (1)】

小規模事業者の販売する商品又は提供する役務の内容、保有する技術又はノウハウ、従業員等の経営資源の内容、財務の内容その他の経営状況の分析

(事業内容)

本事業のテーマである「観光産業」、「モノづくり」基幹産業、「創業者」の支援を行うには個々の事業者の現状の経営分析を行う必要がある。経営分析を行う事業者は、巡回、窓口相談、セミナー参加者から発掘することとし、合わせて 15 社選定して経営分析を行う。

①エキスパートバンク事業 (専門家派遣) による経営分析

11 月 12 日 (金) 創業 1 件

1 月 27 日 (木) 観光産業事業者 1 件

②中小企業 1 1 9 (専門家派遣) による経営分析

12 月 14 日 (火)、1 月 7 日 (金)、1 月 18 日 (火)、

2 月 3 日 (木)、2 月 27 日 (日) 全 5 回

モノづくり事業者 1 件

③伴走型小規模事業者支援推進事業 (専門家派遣)

による経営分析

12 月 15 日 (火) モノづくり事業者 1 件

12 月 16 日 (水) モノづくり事業者 1 件



④金融あっせんに係る経営分析

コロナ特別貸付 10件（内、観光産業事業者3件、モノづくり事業者2件、創業1件）
マル経貸付 2件（該当なし）

⑤各種補助金申請に係る経営分析

- ・小規模事業者持続化補助金（一般型）9件
（内、観光産業事業者4件、モノづくり事業者1件、創業1件、その他3件）
- ・小規模事業者持続化補助金（コロナ型）8件
（内、観光産業事業者4件、モノづくり事業者3件、その他1件）
- ・奄美群島チャレンジ支援事業補助金 モノづくり事業者1件
- ・サービス業販売チャンネル新規開拓・生産性向上支援事業費補助金 5件
（内、観光産業事業者4件、その他1件）
- ・事業再構築補助金 5件
（内、観光産業事業者1件、モノづくり事業者2件、その他2件）
- ・龍郷町加工品等販路開拓支援実証事業補助金 2件
（内、観光産業事業者1件、モノづくり事業者1件）

⑥創業（3年未満）に係る経営分析

新規創業 3件
創業3年未満 1件

（実施目標）

3月15日現在

	目標	実績
経営状況分析件数	15件	38件
観光産業事業者	9件	18件
モノづくり事業者	3件	13件
創業（3年未満）	3件	7件

（コメント）

コロナ支援策として、各種補助金の募集が多く、目標を達成できた。

評価 A

4. 事業計画策定支援に関すること【指針第四.1. (2)】

経営状況の分析結果に基づき、需要を見据えた事業計画を策定するための指導・助言、当該事業計画に従って行う事業の実効性向上に必要な指導及び助言

(事業内容)

地域の経済動向調査・需要動向調査によって個々の事業者の取り巻く環境を認識し、経営状況分析を行うことで自らの現状を認識する。現状の理解の次に有るのは事業計画を策定し、実施することである。経営セミナーを活用し事業計画の重要性を理解して課題を掘り起こし、個々の事業計画策定の支援を行っていく。

①経営セミナーへの参加促進

上記において経営状況分析を行う事業者を中心に、それぞれの経営状況に基づき 2 種類の経営セミナー（本商工会主催もしくは広域指導協議会等主催）への参加を促進し、その立場での事業計画策定へ繋げていく。

【管内小規模事業者を対象とする事業計画策定支援セミナー】

開催日時：令和 3 年 4 月 22 日（月）16 時～17 時

場 所：龍郷町商工会

内 容：HACCP に基づく衛生管理について（集団）

講 師：(株) ワイズプラス (代) 森 好子 氏

参加者数：7 名（内小規模事業者 7 名）

開催日時：令和 3 年 4 月 22 日（月）18 時～19 時半

場 所：龍郷町商工会

内 容：キャッシュレス導入セミナー（集団）

講 師：(株) 鹿児島カード 倉岡 哲郎 氏

参加者数：7 名（内小規模事業者 6 名）

開催日時：令和 3 年 10 月 8 日（金）14 時～15 時半

場 所：龍郷町商工会（ZOOM 開催）

内 容：鹿児島県飲食店第三者認証制度セミナー（集団）

講 師：鹿児島県 担当者

参加者数：5 名（内小規模事業者 5 名）



開催日時：令和3年10月18日（月）13時～15時半
場 所：奄美観光ホテル
内 容：中小企業のための売上・見込客を伸ばすためのネット活用術（集団）
講 師：NAWAGATE（株）（代）縄田 倫靖 氏
参加者数：2名（内小規模事業者2名）

開催日時：令和3年12月14日（月）1月7日（金）、1月18日（火）、
2月3日（木）、2月27日（日）10時～18時 全5回
場 所：龍郷町商工会及び事業所
内 容：事業計画策定指導（個別）
講 師：（株）ジョイヤ（代）桔梗 美紀 氏
参加者数：1名（内小規模事業者1名）

開催日時：令和3年12月15日（水）14時～17時
令和3年12月16日（木）9時～12時
場 所：龍郷町商工会
内 容：事業計画策定指導（個別）
講 師：（株）コンサルティングエヌ（代）長友 太
参加者数：2名（内小規模事業者2名）

開催日時：令和3年12月21日（火）13時半～15時半
場 所：龍郷町商工会
内 容：インボイス制度への対応について（集団）
講 師：悦田 隆二郎 氏
参加者数：7名（内小規模事業者6名）

【創業・第二創業・経営革新を対象とする事業計画策定支援セミナー】

開催日時：令和3年9月13日（月）14時～17時
場 所：龍郷町商工会
内 容：無料で作れる！ホームページ作成セミナー（集団）
講 師：（株）リリー 取締役COO 田井村 尚紀 氏
参加者数：6名（内小規模事業者6名）

開催日時：令和3年9月14日（火）9時～12時
場 所：龍郷町商工会
内 容：ホームページ作成指導（個別）
講 師：（株）リリー 取締役COO 田井村 尚紀 氏
参加者数：2名（内小規模事業者2名）



②事業計画策定支援

経営分析を実施した観光・モノづくり事業者や上記セミナー参加者（管内小規模事業者、補助金活用を検討する事業者）を中心に、連携する支援機関とともに事業計画の策定支援を行う。また、創業・第二創業・経営革新を検討する事業者については別メニューにより、目的に沿った事業計画の策定を支援していく。

【管内小規模事業者に対する事業計画策定支援】

→上記、セミナー参加者及び個別指導事業者のうち、事業計画策定に至った事業者 7 件
その他、各種補助金申請に伴う事業計画策定事業者 21 件

【創業・第二創業・経営革新支援に係る事業計画策定支援】

→上記、セミナー参加者及び個別指導事業者のうち、事業計画策定に至った創業事業者 0 件
その他、各種補助金申請に伴う事業計画策定に至った創業事業者 3 件

(実施目標)

3月15日現在

	目標	実績
経営セミナー参加人数	25名	39名
事業計画策定	15名	31名
創業・第二創業・経営革新	10名	8名
事業計画策定件数	15件	31件
管内小規模事業者	12件	28件
創業・第二創業・経営革新	3件	3件

(コメント)

セミナー参加者の事業計画策定件数を増加させるため、セミナー終了後のフォローアップの密度を上げて、課題解決に向けた事業計画策定に繋げたい。

評価 A

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針第四.2(3)】

小規模事業者に対して事業計画の策定支援を行うに当たっては、策定段階のみならず、当該事業計画の進捗を確認するとともに、売上・利益等の経営指標の推移を把握することによって、その効果を測定し、継続的に経営に係る指導及び助言を実施すること。

(事業内容)

①事業計画を策定した事業者に対し、巡回計画書を作成して四半期に1回の巡回を実施することで事業計画の進捗状況を確認する。必要な際は、事業計画を広域指導員、専門家等を交えて見直し、ズレの要因、修正箇所を検討した上で、再度支援を実施する。また、小規模事業者持続化補助金等の採択者について、中間・最終と2度の進捗状況確認を行い、事業の早期完了を指導、販路開拓・売上増加を図る。

→年度当初に、巡回計画を作成している。事業計画の見直し、修正も広域指導員、専門家派遣を通して相談をしている。フォローアップに関しては、四半期に1回としているが、随時、巡回、窓口で行い、補助金等採択者のフォローアップも随時実施した。

②創業・第二創業・経営革新等新たな事業の取組みを目的とした事業計画策定事業者については、四半期に1回、計画の進行状況を確認する。また、進捗の状況によってはフォローアップ回数を増やして支援を行っていく。

→本年度に事業計画を策定した創業1名、創業3年未満2名に対して、事業の進捗と修正を行った。補助金採択者には、実績報告の支援を実施した。

③事業計画の実行時に資金調達が必要であれば、各融資制度、各補助金等の活用を提案して事業計画の推進を支援する。

→事業計画の実行時、金融あっせん及び補助金申請支援を実施した。

(実施目標)

3月15日現在

	目標	実績
事業計画策定支援後フォローアップ件数	60件	208件
管内小規模事業者	48件	193件
創業・第二創業・経営革新	12件	15件
売上増加事業者数	5件	9件
利益率3%増加事業者数	5件	5件

目標 (管内小規模事業者 12 事業者×4 回=48 回 創業 3 事業者×4 回=12 回)

(コメント)

事業計画策定事業者が目標を上回っており、事業計画策定後の支援事業者もそれに伴い増えたため、フォロー件数も大幅に達成できた。

評価 A

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針第四.1. (4)】

小規模事業者が事業計画に従って行う需要の開拓に寄与することを目的としたソーシャルメディアやプレリリース等の広報手法, 商談会や展示会等を用いたブランド形成・マーケティング, 電子商取引等の活用手法の教授。

(事業内容)

域外への販路開拓を図るモノづくり事業者、特産品関連事業者と観光関連事業者に対し、下記の4点の事業について支援を行う。

①展示会、商談会に対する販路拡大支援

現状の情報提供を拡充し、前回より進めてきた各種物産展、商談会に今後も積極的に出展する。BtoCの物産展に加えて、県外のBtoBの商談会に出展し、職員も同行して消費者、バイヤーに対して需要動向のアンケート調査を実施する。

- ・ R4/11/10 (水) ~11/11 (木) フードスタイル九州 2021 出展：2 事業者
開催場所：マリンメッセ福岡

2 日間で開催された BtoB 商談会に出展した。

出展者合計 907 社、バイヤー等来場者 14, 924 名

(10 日：7, 855 名、11 日：7, 069 名)

龍郷町商工会からは 2 事業所 (内小規模事業者 2 事業所) が出展した。近隣の商工会と一緒に参加することで、鹿児島県の離島としての PR もできた。

A 社→ 1 年以内の取引見込 3 社、見込金額 120 万。

B 社→ 1 年以内の取引見込 5 社、見込金額 125 万。

成約 2 件。



- ・ R4/1/14(金)~1/16(日) 商工会こだわりの逸品フェア 第三弾 (種子屋久・奄美地域) 延期
- ・ R4/2/2 (水) ~2/4 (金) 商工会こだわりの逸品フェア 第三弾 (種子屋久・奄美地域)中止
- ・ R4/2/4 (金) ~2/7 (月) 菊池市奄美物産フェア 中止

②かごしま特産品市場 (BtoC) を活用した新商品出展支援

鹿児島県商工会連合会が運営するアンテナショップを活用する。経営指導員がアンテナショップにて研修を行う際に、出展事業者の商品についてヒアリングを実施して、消費者の声を事業者へフィードバックすることで、新商品の出展・ブラッシュアップを図る。

R41/25 (火) ~1/26 (水) かご市「龍郷町フェア」 中止

③ホームページ開設、ネットショップ・ネット予約システムの開設支援

創業者についてグーペ等を使用した無料ホームページの開設支援を実施する。

ネットショップについては、対面販売や電話注文が主である特産品関連の小規模事業所に対して、ネットショップ開設の支援を行う。

ネット予約システムについては、飲食・宿泊業や体験プログラム等を提供する観光関連の小規模事業者に対して、予約システムの構築を支援する。(世界自然遺産登録への受け入れ体制の多言語化を含む)

※グーペとは全国商工会連合会と提携した事業者向け HP 作成ツール

→令和3年9月13日(月)に「無料で作れる！ホームページ作成セミナー」(集団)を開催した。6名が受講して、自社ホームページを作成して活用している。また、巡回にてグーペを紹介した事業者が活用しており、本年度のグーペでのホームページ作成は7件となっている。

11月18日にはグーペコンテストが開かれ、新規事業者1件のホームページを作成して発表会に参加した。当日にはブラッシュアップ研修。その他、持続化補助金を活用したホームページ作成(予約システム)1件。

④ふるさと納税の寄付者に対するお礼品の活用

行政担当者と連携して、特産品小規模事業者の商品をふるさと納税のお礼品とすることを支援して、地域商品の販路拡大へ活用を行っていく。

→9月10日(金)、龍郷町のふるさと納税の委託先である(株)ラクセスイノベーションと打ち合わせを実施。商工会からの出品者紹介を行った。

龍郷町ふるさと納税実績 令和2年度(3月末) 5,698万円
令和3年度(2月末現在) 8,494万円

(実施目標)

2月28日現在

	目標	実績
① BtoC 物産展 (2回) ※バイヤー招聘あり	11社	0社
成約件数/1社	2社	0社
① BtoB 商談会 (1回)	3社	2社
成約件数/1社	3件/1社	2件/2社
②かご市出展事業者数	10社	7社
出展商品総数	18	42

③HP、ネットSP、ネット予約システム開設数	3社	9件
④ふるさと納税出品事業者数	35社	41社
ふるさと納税取扱商品数	150品	330品

(コメント)

①BtoC物産展(2回)は中止、②かご市出展は中止となったが、フードスタイル九州において一定の成果を上げることができた。④ふるさと納税については行政担当者の働きかけにより、大幅に目標を達成できた。

評価 C

II 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること【指針第四.2.(3)】

経営発達支援事業の実施状況について定量的な指標をもって把握し、評価を行うことができる仕組みを設けるものとする。

(事業内容)

- ①事業の実施状況を定量的に把握するために、「基幹システム」(企業情報や支援カルテが集約されている)活用して、実施状況調査ファイルへ入力する。
また、普段から職員2名は情報を共有できるため、行政担当者とのミーティングを四半期に1回は開催して実施状況と情報共有を図る。

→基幹システムに入力しているカルテを基に、毎年6月に実施状況を報告している。
行政とのミーティングは随時行っている。

- ②外部有識者を地元金融機関代表者や中小企業診断士等に委嘱する。

事業の実施状況を理事会と併設して外部有識者、行政担当者を交えた上で「評価委員会」を開催して報告、評価・検証・見直しを行い、承認を受ける。(年1回)

→評価委員会を年1回開催して、報告、評価・検証・見直しを実施している。

- ③検証、見直しの承認を受けたあと、地域の小規模事業者が閲覧できるように
当会ホームページ及び会報へ掲載し事務所にも常時備えつけておく。

→理事会において承認を受けた評価報告書を当会ホームページ及び会報へ掲載し、事務所にも常時備えつける。

評価 A

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

経営指導員等は、小規模事業者に対して技術の向上、新たな事業の分野の開拓等に寄与する情報の提供ができるよう AI, FinTech 等の新たな技術情報の収集やマーケティング調査手法の習得と知識の更新に努めていくことが必要である。

(事業内容)

【組織外研修】

①鹿児島県商工会連合会主催の支援担当者研修会に参加することで、専門的かつ幅広い知識の習得に努め、支援担当者としての能力強化を図っていく。

【各種研修】

開催日	実施内容	開催場所	備考
R3. 4. 22 (木)	労働保険事務組合年度更新説明会	鹿児島県町村自治会館	林 佐登美
R3. 4. 26 (月)	小規模事業施策説明会及び県連事業説明会	東急 REI 鹿児島	福本 洋孝
R3. 7. 14 (水) ~ 7. 15 (木)	経営支援員研修会	ホテルレクストン鹿児島	林 佐登美
R3. 7. 20 (火) ~ 7. 21 (水)	経営指導員研修会	東急 REI 鹿児島	福本 洋孝
R3. 9. 28 (火)	「グーペ」活用による情報発信力強化研修	サンロイヤルホテル鹿児島	福本 洋孝 事業者1名
R3. 10. 11 (月) ~10. 12 (火)	経営支援員基本能力研修会	サンロイヤルホテル鹿児島	林 佐登美
R3. 10. 13 (水)	労働保険事務組合担当者研修会	サンロイヤルホテル鹿児島	林 佐登美
R3. 10. 22 (金)	マル経推薦団体連絡協議会	サンロイヤルホテル鹿児島	福本 洋孝
R3. 10. 11 (月) ~10. 12 (火)	経営指導員応用研修会	ホテルレクストン鹿児島	福本 洋孝
R3. 11. 18 (木)	「グーペ」活用による情報発信力強化研修 ホームページコンテスト	サンロイヤルホテル鹿児島	福本 洋孝 事業者1名

②奄美大島地域の商工団体の職員を対象とした経営支援研究会に参加することで、管内の小規模事業者の利益確保に資する支援ノウハウを習得する。

R4. 1. 21 (金)	奄美大島地区商工会・商工会議所 広域連携研修会 (税務研修・金融研修)	本場大島紬伝統産業会館	福本 洋孝
---------------	--	-------------	-------

③中小企業大学校の実施する支援担当者研修会に参加することで、高度な専門知識を習得する。

→本年度は、職員2名とも該当する研修会なし。

【組織内研修】

①小規模事業者の相談内容（ヒアリング、計画策定、助言等）に対し、経営指導員と経営支援員がチームとなり、支援内容を検討、実行、検証することにより組織の支援能力の向上及び組織内での情報の共有化に努める。

→職員2名体制の為、迅速な情報共有が出来ている。

②中小企業診断士や税理士等の有資格者の助言を受けて、各自の支援内容の検証を行い経営支援能力の向上に役立てる。

→事業者の課題に対して、職員で解決が難しい場合は、専門家を招聘して支援内容の検証と経営支援能力の向上に努めている。

③組織全体としてレベルアップを図るため、経営指導員のみならずその他の職員を含めた支援能力の向上と支援ノウハウ及び小規模事業者の経営分析結果等について、現在の職員が人事異動等でなくなった場合も、組織の財産として残していけるよう、既存の小規模支援システム（カルテ入力）を利用しデータベース化し、個々の職員に帰属するのではなく組織として共有する仕組みを構築する。

→小規模支援システムでデータを蓄積して共有している。

評価 A

3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

専門性の高い分野に関する相談については、経営改善普及事業を担当する商工会又は商工会議所の職員だけで応じるのではなく、専門士業や中小企業等経営強化法に基づき認定された情報処理支援機関等とも連携して応じていくことが求められる。

（事業内容）

地域の小規模事業者に対する支援力を強化するために地域の経済動向や需要動向、事業計画策定に関して他の支援機関との連携・情報交換を密にすることで各支援機関が持つ支援策を把握することで事業者への提案力・支援力の向上に努める。

①管内での1商工団体、1金融機関である奄美信用組合竜郷支店とは密接した関係性にある。定期的な情報交換を行うことで小規模事業者に対する需要動向や支援ノウハウ、各種分析結果を踏まえて情報を共有することにより、小規模事業者の資金繰りの円滑化並びに設備投資等に係る前向きかつ健全な支援に繋がる。

→本年度は、補助金申請の際、事業内容の把握と連携について担当者と協議した。

②近隣商工団体（本会含め4商工会1商工会議所）の支援担当者会議への参加を年1回行い、支援ノウハウや成功事例の把握、また小規模事業者の分析結果等が個々の経営指導員等に属人的に集積しないよう、他地域でのモデルとなる支援情報を交換、本地区への支援体制の強化を図る。

→1月21日の広域連携研修会（税務研修・金融研修）において、近隣商工会職員と支援内容の情報交換を行った。

③鹿児島県よろず支援センター、地元金融機関等との情報共有、連携を強化して支援メニュー等を広く把握することで、小規模事業者にとって、効果的で厚い支援を実施する。

→情報共有については必要な際、お互い共有できているが、連携を強化しての支援メニューの把握は不足していたと思われる。

評価 C

Ⅲ 地域経済の活性化に資する取組

1. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

小規模事業者の経営発達に寄与させることを目的として、その存立基盤である地域経済の活性化を図ること。

(事業内容)

① たつごうみらい会議（年5回）

平成30年7月に発足された会議で、行政、地域おこし協力隊、民間企業（福祉、特産品、基幹産業、デザイナー等）、商工会、高校生が加わっている。現状の9回は、次期龍郷町総合振興計画についての議論がなされた。全国画一的な行政主導の政策ではなく、地域のことは地域で解決する時代。「住みたいまち たつごう」の実現を目標として掲げ、地域経済の活性化に向けた会議を重ねていく。

→本年度は「たつごうみらい会議」が5回開催され、職員1名が委員として参加した。メンバーが協議を重ねて、龍郷町の活性化に向けた提言をまとめて、町長へ提出した。

② 龍郷町商工会プレミアム商品券発行事業

平成25年度より龍郷町プレミアム商品券（プレミアム率10%）で商工会が発行している。発売からすぐに完売して、「地域内消費の喚起と商工業者の売上確保」に寄与している。地域住民、管内事業者にとって定着した事業であり本年以降も継続する。

→本年度は行政より委託を受けて、事業所支援を目的として、お食事券5,000円、お買物券5,000円の合計10,000円を全町民へ配布した。コロナ拡大で使用期限を延ばす対応を取り、2月28日で終了した。

③ 観光部会を中心とした修学旅行の誘致

教育民泊の観点から奄美大島観光協会及び商工会の観光部会で誘致に向けた取り組みを実施している。中学生を対象とした修学旅行で本町の文化、生活を体験できるプログラムを用意して、専門家の指導のもと実現へ向けて活動している。修学旅行の誘致で観光関連の宿泊業、民泊、飲食等への波及効果を図り地域経済の活性化に取り組む。なお、学校関係者は修学旅行の行先を2年前に選定を行うため目標は令和4年度からとした。

→教育民泊の実現に向けて、観光部会、行政担当者、教育民泊コーディネーターと協議を重ねている。また、教育民泊セミナー開催を通じて受入家庭を募集して、令和4年度に1回目の開催を目指している。

評価 A
